Engineer's studios 面内 Ver.2

任意形平面骨組みの面内荷重計算プログラム

プログラム価格 ¥232,000 活荷重一本棒解析 オプション ¥20,000 土木構造一軸断面計算 オプション ¥143,000

サブスクリプション価格 P.116~117参照 UC-1エンジニアスイート P.30~31参照

Windows 7/8/10 対応

有償セミナー

Engineer's Studio®の入出力画面を 2 次元版に簡素化したもので、フレーム計算後に応力度照査や耐力照査などの断面照査も可能です。照査基準は、道路橋示方書、2012年制定コンクリート標準示方書のRC断面計算に対応しています。

【プログラムの特長】

- 材料、幾何学的線形の二次元面内解析プログラム
- 断面形状入力、断面定数自動算出後、フレーム計算実行
- 対応断面形状:矩形、小判、円形、I 桁、T 桁、ダブルT 桁、箱桁、円孔ホロー桁
- 要素:オイラー梁要素、トラス要素(材端条件両端ピンとした場合)、弾性床上の 梁要素 ばね要素、剛体要素、梁要素とトラス要素の組み合わせ可能
- ◉ 支点:節点支持、複数の支点ケース対応、複数の分布ばね支持ケース対応
- 荷重:節点への並進荷重・モーメント荷重、強制変位、部材分布荷重、部材集中 荷重、基本荷重ケース、組合せ荷重ケース、抽出荷重ケース

【UC-1 FRAME (面内) との機能比較】*: 「UC-1 FRAME (面内)」には搭載されていない機能

- マウス操作での連続はり要素作成、節点の配置(要素長の変更)、フレーム要素の配置、ばね要素の配置、剛体要素の配置*
- グループ毎に最大/最小曲げモーメントの計算、構造部位毎の断面力算出*
- 支点は選択状態で変更可能、要素を再分割しても荷重状態保持*

- 部材変位の計算 *
- 剛体要素内の主節点にばね要素を配置可能*
- 剛体要素の端部から複数の部材が接続している構造が解析可能 *
- モーメント荷重は支持された梁要素に入力可能*
- プレストレスのような内力は、分布ばねで支持された梁要素に入力可能*
- 断面照査(道路橋示方書、土木学会コンクリート示方書)*

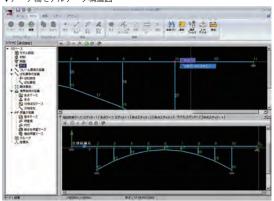
【活荷重一本棒解析オプション】

- それぞれの影響線解析を行い、断面力や変位が最も厳しい結果を抽出
- 連行荷重に対しては、往復の設定や等分布荷重p2を載荷しない設定が可能

【土木構造一軸断面計算オプション】

- RC断面の許容曲げ応力度照査、曲げ耐力照査、平均せん断応力度照査等、せん 断耐力照査、最小鉄筋量の各照査(道路橋示方書参考)
- 終局・使用・疲労限界、耐久性、断面破壊に対する安全性、疲労破壊に対する安全性、使用性の各照査(土木学会コンクリート標準示方書を参考)

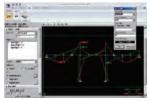
▼アーチ橋モデルデータ構造図



▼断面計算の入力画面



▼ラーメン橋モデルデータ変位図+断面力図



▼トラス橋モデルデータ



▼アーチ橋モデルデータ荷重図

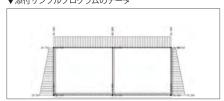


FRAME (面内) SDK プログラム価格 ¥173,000 任意形平面骨組の面内解析プログラム FRAME (面内)の計算機能をAPIとして提供 体験セミナー

FRAME (面内) の画面にとらわれるず、入力データをセットして計算を行い、計算結果を取得できます。プログラムの動作にはFRAME (面内) が必要です。

- 「FRAME(面内)」の計算機能のみをライブラリとして提供する開発キット
- 面内荷重解析などの機能を作成したプログラムに組込み利用可能
- 計算条件の指定、計算結果の取り出しを独自に実装可能
- 独自のファイルフォーマットによるデータの入出力、計算書の出力が可能

▼添付サンプルプログラムのデータ



Engineer's Studio® Section ®

Engineer's Studio®の断面計算を 切り出した単独製品 プログラム価格 ¥300,000

Windows 7/8/10 対応

自由な形の断面形状に各種示方書の設定と断面力を与え、断面照査を行います。設定はEngineer'sStudio®にインポート/エクスポートが可能です。

- M-φ特性(曲率照査用): 骨格、バイリニア(対称、非対称)、トリリニア(対称、非対称)、テトラリニア(対称、非対称)
- 照査項目:曲げ応力度、せん断応力度、曲げ耐力、せん断耐力、鋼製橋脚の曲げ耐力、付着応力度、最小鉄筋量、曲率照査、限界状態査、部分係数設計

▼断面形状の設定画面



▼軸力と曲げモーメントの相互作用図

